

B-5 衣料用不織布の研究 - 耐摩耗性の測定
大阪市大 家政 広田澤次

目的、不織布は最近、使い捨て用の布として次第と多く用いられるようになってきているが、衣料としての性能については明らかにされていないところが多い。不織布の衣料としての耐久性の重要な性質の一つは耐摩耗性である。摩耗試験機による試験と着用試験とを行ひ、実用的限界をたしかめた。

実験方法

- (1) 試験布は市販の不織布の代表的なもの多種を用いた。
- (2) 試験機による摩耗はユニバーサル型試験機による平面、ヒダの両法により行ひ、摩耗子材料には同種の不織布および木綿布、ナイロン布を使用した。
- (3) 着用試験は不織布を用いてワンピースを縫製し、着用による摩耗の進行を各部位ごとに測定した。

実験結果と考察

- (1) 平面摩耗においては摩耗がある段階に達すると急激に進行する傾向がある。ヒダ摩耗においては、それほど顕著な変化はない。
- (2) 摩耗子の表面状態によつて不織布の摩耗は著しく影響をうけ、また材料の種類よりも糸、布の構造差が大きく影響する。
- (3) 着用試験において損傷は袖口、ワキ部など摩耗と引張りが同時に作用する部分において著しく、着用による強度低下は本実験の範囲においては、1週間着用で試験機による破壊までの摩耗回数 $\frac{2}{5}$ 程度の摩耗損傷と等しい。